

神居子ども育成事業実行委員会活動報告（令和8年度）

（単位：円）

事業名	実施内容	成果と課題	予算額	決算額	補助金 確定額
ふれあい子ども広場事業	神居商工振興会主催「夏まつりインカムイ」において、子ども向けのものづくり体験ブースを出展し、手作りうちわとスライム、デコキーホルダー作りを実施した。 開催日時：令和8年7月19日（日）14時～17時 開催場所：神居中央公園（神居2条7丁目） 参加者：子ども190名（手作りうちわ61名、スライム59名、デコキーホルダー70名） 実行委員13名 計203名 実行委員会2回（5/20、6/4）	「夏まつりインカムイ」において、3種類の子どもの向けものづくり体験ブースを出展した。各ブースで準備した約70名分の材料はほぼ全て消化される盛況ぶりで、子どもたちが笑顔でイベントを楽しんでいた。ものづくりを通じた交流により、子どもたちの地域活動への関心を高めることのできる貴重な機会となった。 運営面においては、旭川市立大学の学生ボランティア6名が準備段階から参加し、会場設営や当日の運営に携わったことで、前年以上に円滑な進行が可能となった。また、神居中央地区市民委員会から大型テントと机、椅子を借用できたことで、イベント当日の準備作業が大幅に軽減された。これらの備品を活用して新たに待合スペースを設け、受付順に案内する方式を採用した結果、混雑時の混乱を防ぐとともに、急な天候の変化にも柔軟に対応することができた。一方で、体験ブース内については、前回まで設置していた椅子をあえて撤去したことで、参加者の動線確保と作業効率の向上が図られ、回転率の大幅な改善につながった。 各体験ブースの実施状況は以下のとおりである。 「デコキーホルダー作り」は、ケースに交通安全祈願の台紙を入れ、デコパーツ等で飾り付ける内容で、未就学児でも簡単に製作でき大変好評であった。前回参加が少なかった中学生の参加も見られ、幅広い年齢層が楽しめる内容としてアンケートでも高い満足度を得た。「うちわ作り」では、流行の立体シールやラインストーン、カラーペンを用いて、オリジナリティあふれる作品作りに真剣に取り組む姿が多く見られた。「スライム作り」は学生ボランティアがマンツーマンで参加者への指導に当たった。スタッフ不足によりスライムの硬さ調整の失敗が多かった前回の課題を克服し、アンケートでは体験の難易度について8割の参加者が「簡単」又は「ふつう」という回答であった。 今後の課題については、ボランティアとの継続的な連携である。今回、学生ボランティアの協力が運営の大きな力となったため、今後も大学等と良好な連携体制を維持し、学生の力を持続的にイベント運営に生かしていく関係づくりが必要である。	100,000	54,769	45,231
			100,000	54,769	45,231